

赤十字国際ニュース

2017年 第35号 2017年9月29日
(通巻 第1238号)

日本赤十字社 国際部

東京都港区芝大門1-1-3 TEL 03-3437-7087 / FAX 03-6679-0785
E-mail:okusai@jrc.or.jp <http://www.jrc.or.jp/>

■赤十字シンポジウム 2017 開催

「赤十字シンポジウム 2017」が10月28日(土)、東京・表参道で開催されます。このシンポジウムは、多くの方に国際協力や人道支援への関心を寄せていただくために、日本赤十字社と日本放送協会(NHK)が共同で毎年開催しています。

今年は頻発する、紛争地における医療施設や医療従事者、医療車両を狙った攻撃、負傷者の医療サービスへのアクセス妨害の問題を取り上げます。ぜひご来場ください。

■紛争下で狙われる医療支援～救える命を、救いたい～



写真提供：赤十字国際委員会（ICRC）

一刻も早く治療を受けさせたいと負傷者を運ぶ救急車が、行く手を阻まれています。そして、苦しんでいる人を救いたい、ただその一心で活動する医療スタッフ、ボランティアスタッフが、彼らを狙った攻撃により命を落としています。

世界保健機関(WHO)の調査によれば、昨年1年間に病院等が攻撃を受けた回数は302回に上り、418人が犠牲になっています。こうした行為は、紛争時のルールを国際的に定めた国際人道法で厳しく禁止されているにも関わらず、後を絶ちません。

国際赤十字では、このような国際人道法に違反する行為を防止することを目的とした“Health care in Danger”プロジェクトを展開しており、国際社会でもこの問題に対する意識が高まりつつあります。

日本に住んでいる私たちには想像をすることが難しい、紛争下における医療支援の現状を知り、私たちにできることについて、共に考えてみませんか？

赤十字シンポジウム 2017 開催概要

日 時：平成 29 年 10 月 28 日（土）14:00～16:00

場 所：表参道ヒルズ本館地下 3 階 スペースオーナー

東京メトロ銀座線、千代田線、半蔵門線「表参道駅」A2 出口徒歩 2 分

東京メトロ千代田線、副都心線「明治神宮前駅」A5 出口より徒歩 3 分

参 加 費：無料

申込方法：郵便はがき、FAX、インターネットのいずれかの方法でお申し込みください。

お申し込みは 1 通につき 1 名様となります。

※申し込み多数の場合は抽選とさせていただきます。抽選結果の発表は入場整理券の発送をもってかえさせていただきます。

出 演 者：

コーディネーター

ジョン・カビラ（キャスター・パーソナリティ）

パネリスト

瀬谷 ルミ子（日本紛争予防センター（JCCP）理事長）

古谷 修一（早稲田大学大学院法務研究科教授）

村田 慎二郎（国境なき医師団（MSF）前イエメン活動責任者）

渡瀬 淳一郎（大阪赤十字病院 国際救援部副部長）

スペシャルスピーカー

マーチェイ・ポルコウスキ

（Health Care in Danger プロジェクト統括 赤十字国際委員会（ICRC）パキスタン代表部）



ジョン・カビラ



瀬谷 ルミ子



古谷 修一



村田 慎二郎



渡瀬 淳一郎



マーチェイ・
ポルコウスキ

■ グローバルフェスタ JAPAN2017 に出展しました！

グローバルフェスタは、国際協力活動を行う政府機関や、NGO、企業などが一同に会する国内最大級のイベントです。日本赤十字社は、今年も海外たすけあいユースボランティアと一緒にブースを出展し、ネパールのコミュニティ防災、コレラの感染対策の移動式映画館、紛争地域への支援等について紹介しました。

海外たすけあいユースボランティアの活動はこちらをご覧ください。



海外たすけあいユースボランティアのみなさん